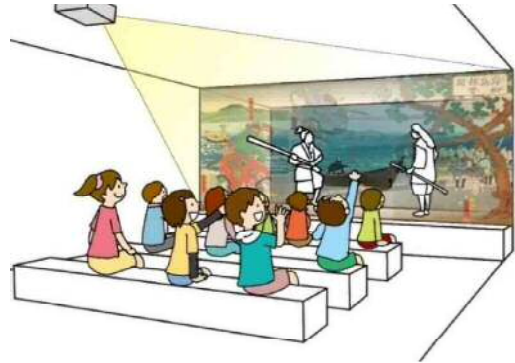


2F：人物パノラマ



小倉城ゆかりの人物を映像や人物パネルにて紹介

3F：「武蔵」と「小次郎」の紹介



「巖流島の決闘」など宮本武蔵と佐々木小次郎をテーマとした展示を展開

4F：小倉ゆかりの文化



小倉ゆかりの文化として、細川幽斎・三斎にちなんだ茶室や京都から小倉に伝わった祭り・和歌・書画などの文化を紹介

5F：展望スペース・イベント利用



展望スペースとしてだけでなく、イベント会場としても活用できるよう、照明や音響といった設備を整備

1～5F：エレベータの設置



あらゆる人が快適にお城を楽しめるよう、新たにエレベータを設置

5 整備スケジュール

年度	内容
H28	基本計画策定
H29	実施設計、映像コンテンツ制作、展示・設備改修工事（一部）
H30	展示・設備改修工事

# おもてなしステーション「(仮称)しろterrace」<sup>テラス</sup>

## 1 事業の目的

平成27年度に整備した団体バス駐車場の近隣に、小倉城周辺のエントランス機能を集約した総合案内コーナーや地元産品のお土産や居心地のよいラウンジなどを備えた来訪者を「おもてなし」する施設を整備するものである。

## 2 施設コンセプト

日本の「和」と北九州・小倉の「伝統」をテーマとした「温故創新」の交流・体感空間

### <建物空間イメージ>

#### 「ジャパニーズ モダン」

透明感のあるガラスを基調とした「日本の和とモダンさ」が融合した建物を展開。やわらかい木の色が城壁とマッチし、全体の調和を育む。



## 3 施設内容

小倉城エリアに不足し、ニーズの高い4つの機能を凝縮したおもてなしの空間

①清潔で快適なトイレ



③「グルメ」や小倉ならではの「おみやげ」コーナー



②ゆっくりできるラウンジ



④小倉の文化・伝統に触れられる観光案内デスク



## 4 整備スケジュール

年度	内容
H28	建物基本計画、施設基本コンセプト作成
H29	建築・展示実施設計、建築工事、展示工事
H30	整備完了





# 城内の再整備 <基本方針図>

※ 広場の名称については仮称

□ 内は整備年度



0 5 10 20M  
scale 1:500(A3)



**百花園**  
 ■整備方針  
 天守閣広場両側に和がイメージできる中  
 下木を補栽し、四季折々の花などが楽しめる、  
 百花園を整備する。



**松の丸さくら広場**  
 ■整備方針  
 小倉城は、江戸時代より九州探題としての  
 の役割を持っていただけ、桜が植えられ、  
 当時の城としては珍しく「さくらの城」で  
 あった。  
 松の丸広場は「さくらの城」として数多  
 くの品種のさくらが見られ、花見が出来る  
 広場を整備する。



**イベント広場・紅葉広場**  
 ■整備方針  
 天守閣広場北西側に紅葉の美しい本丸紅  
 葉広場を整備する。  
 天守閣広場中央には様々なイベントが出  
 来る広い空間を確保する。



武蔵・小次郎像





## サイン整備

### 1 事業の目的

小倉城周辺エリアを訪れる国内外の訪問者が、安心して迷うことなくまち歩きや観光を楽しんでいただけるよう、わかりやすい案内や情報を掲載したサインやにぎわいを演出するバナーを設置するものである。

### 2 サインの計画範囲



### 3 サインの基本方針

#### ①施設内サイン

(現況) 施設ごとの案内表示(多言語表記、ピクトグラムなど)がバラバラである。  
 ⇒受付窓口の案内表記や館内のピクトグラム等の統一化

#### ②小倉城エリア内サイン

(現況) 公園や観光サイン、施設案内サインなどが統一感なく、設置されている。  
 ⇒これらを体系的に整理し、エリアを束ねる総合・準総合サインを新設する。

#### ③最寄り駅(小倉駅・西小倉駅)から“小倉城エリア”までのサイン

(現況) エリアまでは既存の「歩行者系サイン」が投網的に充足している。  
 ⇒玄関口である駅の観光案内サインの充実、商店街内の観光客動線の強化

### 4 整備スケジュール

年度	内容
H28	基本計画策定
H29	実施設計
H30	整備工事